

# BIU/BCJ 2016 バイクトライアル全日本選手権大会特別規則(亀岡大会)

BCJ2016 全日本選手権大会特別規則は、下記の変更以外について BIU/BCJ 2016 バイクトライアル競技規則(テクニカル・ルール)に従う。

## 1. 変更事項

第4項: セクション

●その他 2) セクション数 最低6セクション

第7項: スタート

国内方式(同時スタート方式)と国際方式(2名1組、2分間隔でのスタート)があり、主催者はどちらかを選択することができる。

第12項: オブザーバー

2) 適用しない。

7) 適用しない。

第14項: 練習

適用しない。

第26項: 世界選手権バイクトライアル大会

23) 各カテゴリーの競技成立に必要な最低参加人数は、**3名と定める**。この規定以下のカテゴリーは競技不成立となる。選手権がシリーズ戦で行われる場合、第一戦で不成立となったカテゴリーは、その年の選手権から外される。但しカップ格式での同時開催は認められる。

2. 全日本選手権シリーズは、日本バイクトライアル連合(以下表記略: BCJ) 公認のもとに BIU/ BCJ 2016 バイクトライアル競技規則、及び BCJ 2016 全日本選手権大会特別規則に従い、開催される。

3. 参加資格は次のように定める。

2016年度のBCJ競技エントリーを完了し、参加費の支払いも完了していること。

4. 参加定員は、会場等の事情により大会によって異なる場合もあるが、エリートをのぞき、最大を100名とする。

5. 参加申込

a) 参加費(オープンクラス含む) 7,500円(消費税込)

b) 申し込み・送金方法

BCJ指定の支払方法にて参加申し込み期間内(大会2カ月前から1カ月前)に支払いのこと。

6. 競技の成立

第26項参照

7. メーカー認定

a) 世界選手権のコンストラクターズへの参加は別途。テクニカル・ルール第11項: カテゴリー参照

b) グループ

グループ登録対象。獲得ポイント合計で順位を競う。

ポイントはテクニカルルール第24項: 順位判定、2) グループD: 国別のポイントに拘る

抗議

競技結果に対する抗議は、最終走者が競技を終えてから30分以内に、主催者に対して文書で行うものとする。裁定費として抗議1件にたいして10,000円を支払う。

8. ゼッケン

a) 選手はBCJより配布される公式ゼッケンを自転車の前面に前向きに取り付ける。マインダー1名はBCJより配布される公式ゼッケンを掲示する。

b) ゼッケン番号は、エリートには年間指定競技ナンバー、その他カテゴリー選手にはライセンスナンバーを採用する。

c) 公式ゼッケンを未装着のものは参加を認めない。但し、参加受付時に主催者より発行された臨時ゼッケンを使用することは認める。

d) 会員には入会・更新時に会員証とともに発行する。紛失、破損のときは事前にBCJにて再発行(手数料500円が必要)を受けること。

9. 資格認定者・年間指定競技ナンバー

BCJ 2016 エリート認定者と年間指定ナンバー

1	山本 雅也	2	大原聡一郎	3	橋本 茂樹
4	高木 祐貴	5	西崎 勝也	6	竹内 康剛
7	大竹信太郎	8	横関 優	9	森 海盛
10	森 進太郎	11	稗田 晃史	12	寺曾 秀明
13	橋本 翔太	14		15	
16					

※エリート認定は自主申告により降格することができる

10. カテゴリー分け、及び選手権のタイトル

a) カテゴリーは、下記の通りである。

G	カテゴリー	規定
A	エリート	国内選抜選手
	Jセニア	2000年及びそれ以前生まれ
C	フェミナ	2008年及びそれ以前生まれの女子
B	ミニメ	2001年~2003年生まれ
	ベンジャミン	2004年~2006年生まれ
	ブッシン	2007年~2009年生まれ
F	グループ	登録グループ対象

b) 昇格と降格について

・昇格規定:

<エリート昇格>

前年度Jセニア最低上位3名。最大8名は昇格の対象となる。詳細はBCJ会長が昇格会議を招集し、そこでの議決を最終的なものとする。

<特別エリート残留処置>

2016年のエリート選手で1年間のみ活動停止の者に限り自主申告により申請を出しBCJ役員の承認を得られた者に対し、エリートとして残留することができる。

・昇格会議により決定する。

・特別昇格について

いかなるクラスにおいても特別昇格は行わない。

・降格規定:

1年間以上活動していなかった者と自己申告により申請を出し、認められた者に関しては降格することが出来る。

#### 11. コース、及びセクション監査

- a) セクションは、「2016 日本バイクトライアル連合 セクション難易度の基準」(別紙)を満たさなければならない。
- b) 競技前に BCJ 役員 (Jury)により、BIU/BCJ 2016 バイクトライアル競技規則に従ってコース、及びセクション作りが行われているかを監査する。
- c) BCJ 役員が規定従っていないと判断し、セクションの改修を指示した場合には主催者はこれに従わなければならない。
- d) ルールの問題について、テクニカルディレクターミーティングによって審議し、全日本主催者代表全員の承認を得て、変更、修正および判断基準を定めることができる。ただし、変更・修正ルールの実施は、次年度以降とする。

#### 12. 大会運営

運営方法は大会が競技規則及び「2016 日本バイクトライアル連合 セクション難易度の基準」を遵守している限り、主催者の選択にゆだねるものとする。

#### 13. オブザーバー資格認定制度

未定

#### 14. ブース出展の条件

公認大会においてブースを出展する際は事前に主催者に申請して、許可を受けなければならない。主催者は BCJ 事務局にこれを報告する。許可なく無断で出展することはできない。

#### 15. BCJ 総会

BCJ 総会は、BCJ 代表と BCJ 役員、選手会代表が参加する BCJ の決定機関である。その他は BCJ 代表の許可を受けた者に限り、視聴参加としてミーティングへの参加を認める。

#### 17. 本規則の解釈

本規則、及び競技に対する疑義は、事務局あてに質疑申し立てができる。なお、この解答は、**BCJ 会長が競技審査委員会を招集し、そこでの議決を最終的なものとする。**

#### 18. 本規則の執行

本規則は、参加申込受付日より有効となる。なお、BCJ 2015 全日本選手権大会特別規則に記されていない事項は、BIU/BCJ 2015 バイクトライアル競技規則による。